

昼夜の分かち、一年のめぐり、春は花・・・、

「観桜の宴」開く！

4月18日午後6時半から山形市旅籠町「香味庵 まるはち」(倫友店)にて、恒例の「観桜会」が開催されました。

会場正面に今満開の桜が優雅に生けられ、薄明かりの照明に映え、「観桜の宴」雰囲気満点。

当会きっての名司会者、前盛専任幹事のもと開宴。鈴木会長の挨拶。続く佐藤副会長、両脇の女性と桜に囲まれ、大変緊張したお姿での「乾杯ッ！」の発声でした？



ご家族も含め23名のご出席をいただきました。

鈴木会長が持ち込まれた吟醸酒「豆山」ほか、大変な美酒。是非、次回も「オ・ネ・ガ・イ！」の声多数。すかさず「ハイッ！喜んで」と会長が承知したとか？(どうも曖昧で・・・。事務局 飛川氏、丹野副専任幹事談。)

楽しかった宴も、市村拡大委員長の「花笠三本締め」で午後8時半に終宴しました。

【編集後記】 個人的な話で恐縮ですが、ちょうど2年前家内共々渡英中。ぶらぶらと、「エディンバラ」郊外にある丘「ペントランドヒルズ」に日がな一日トレッキング。3つ感激しました。丘の上から一望する中心に街と荘厳な宮殿があり、アイリッシュグリーン色の田園街並みに映えるピンク色は、なんと桜の木々。その数多く、まさかロンドンから列車で約5時間の地、スコットランドで花見が出来るとは全く考えておりませんでした。この国の人たちがまた、大事に桜を慈しんでおられることです。街中には鮮やかなピンク、桜の花の絨毯があちこちに見られました。

「万人幸福の葉」第一 新世の発見 p11 の項、「大自然は宇宙の法則に従って、一分一秒の狂いもなく、巡り動いております。昼夜の分かち、一年のめぐり、春は花、秋は紅葉、昔も今も、千万年一日の如く変わらぬ運動を続けております。だれも教えぬのに、ツバメは春きて、軒端に巣を作り、子を育てて、秋は南に飛んでいく。」と述べられております。

年間会活動中、「観桜会」、秋の「観月の宴」があります。「本を忘れず末を乱さず」、季節の移り変わりを確認、振り返る大変大事な宴であること、自然の道の観点から実感させられる次第です。

5月26・27日は「第15回フナ文化フォーラム」、当会が幹事で開催します。ぜひ多くの倫友のご参加を！！